

08年は貧困をなくすチャンスです



「一人ズル勝ち」はダメ

トヨタ&キャノンetc

大企業はボロ儲けを配分しろ

大企業の利益拡大の源泉は、正規労働者の首切りと、パート・派遣化。下請単価の引下げで利益をひとりで占めていること。いまこそ、溜め込み利益の一部を労働者と下請企業に還元すべきです。誰でも1万円の賃上げ、パート時給を1000円以上にすれば、確かな景気回復につながります。

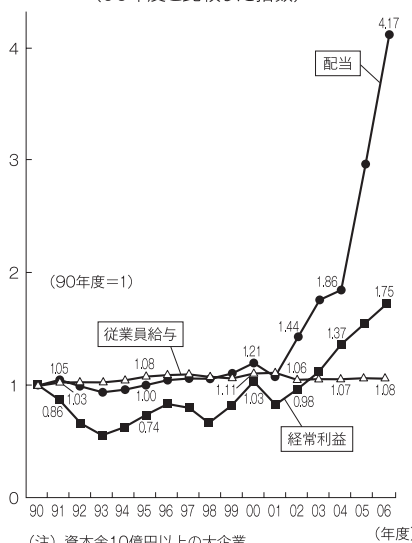
「格差の再配分」は国民の声

上場企業の3月期決算は、連結経営利益が6%増と予測され、5期連続の最高益となる見通しです。日本経団連は消費税増税や法人税減税で、さらなる利益拡大を狙っています。一方では、「経営労働政策委員会報告」のなかで、業績好調な企業の賃上げを容認する方針を打ち出しました。景気回復が実感できず、「格差」が政治問題になるなかで、家計への配慮に初めて言及して、賃上げの必要性を強くにじませています。今年こそ、賃上げのチャンスです。

大企業栄えて、民枯らすな！

「経労委報告」(08年版)で賃上げ容認

大企業の配当が4倍
(90年度と比較した指数)



(注) 資本金10億円以上の大企業。
資料：財務省「法人企業統計」

空前の利益をあげている大企業

